

進行する高齢化、持ち家と高層住宅が増加

～平成17年国勢調査「第1次基本集計結果」(横浜市分)より～



I 人口総数

全国一の人口

横浜市の人口

3,579,628人

平成17年10月1日現在の横浜市の人口は3,579,628人で、主要都市(東京都区部及び政令指定都市)の中では東京都区部に次いで第2位、市としては全国一位の人口となっています。また、前回の平成12年に比べ、152,977人(4.5%)増加しており、この増加数は神奈川県人口増加数(301,623人)の50.7%を占めています。

行政区別では、都筑区(15.4%増加)や中区(12.4%増加)で高い増加率となっています。

(P1 参照)

II 年齢別人口

進行する高齢化

高齢化率

16.9%

平成12年に65歳以上人口(老年人口)と15歳未満人口(年少人口)の人口比が逆転し、平成17年には高齢化率(65歳以上人口の割合)が16.9%となり、高齢化がさらに進行しています。

行政区別で高齢化率をみると、旭区(20.2%)や南区(20.2%)で高い数値になっており、都筑区(10.6%)や青葉区(12.3%)で低い数値となっています。

(P4 参照)

III 配偶関係

女性の未婚率上昇

5歳階級の女性の未婚率

25～29歳

5.5ポイント増

30～34歳

4.8ポイント増

15歳以上人口を配偶関係別にみると、有配偶率は男性が58.9%、女性が59.4%、未婚率は男性が34.0%、女性が24.7%となっています。女性の20歳代後半から30歳代前半の未婚率が大きく上昇しており、25～29歳が5.5ポイント、30～34歳が4.8ポイント上昇しています。

(P6 参照)

IV 世帯の状況

一世帯当たり人員が縮小

一世帯当たり人員

2.42人

平成 17 年 10 月 1 日現在の世帯数は 1,478,104 世帯で、平成 12 年と比べて、107,758 世帯 (7.9%) 増加しています。人数別内訳では、1 人世帯と 2 人世帯が増加しており、一世帯当たりの人員は平成 12 年と比べて 0.08 人減の 2.42 人となっています。

(P7 参照)

高齢者のいる世帯が増加

高齢者のいる世帯の割合

4世帯に1世帯以上

高齢者のいる世帯は 410,830 世帯 (一般世帯数の 28.5%) で、4 世帯に 1 世帯以上が高齢者のいる世帯になっています。一人暮らし高齢者は 97,621 世帯で、平成 12 年に比べ 31.9% 増加しています。

行政区別でみると、高齢者のいる世帯が一般世帯に占める割合は、旭区 (34.8%) や南区 (33.7%) など 9 区で 30% を超え、都筑区 (19.3%) や青葉区 (21.8%) で低くなっています。

(P10 参照)

V 住居の状況

持ち家率が上昇

持ち家に住む世帯の割合

約6割

持ち家に住む一般世帯数は 831,932 世帯で、住宅に住む一般世帯の 59.3% となっており、平成 12 年に比べて 3.6 ポイント上昇しています。

行政区別で持ち家率をみると、泉区 (67.9%)、戸塚区 (67.2%) など 8 区で 60% を超えています。神奈川区 (49.6%)、中区 (51.4%) など低くなっています。

(P12 参照)

高層共同住宅が増加

高層共同住宅の割合

21.8%

住宅の建て方別では、一戸建が 549,643 世帯で住宅に住む一般世帯の 39.1%、共同住宅が 820,349 世帯で同 58.4% となっています。横浜市では特に 6 階建以上の高層共同住宅の割合が増加しており、平成 12 年と比べて 4.1 ポイント増加し、21.8% となっています。

行政区別では、中区と西区で 6 階建以上の高層共同住宅の割合が特に高くなっており、住宅に住む一般世帯のうち約 40% が 6 階建以上となっています。

(P13 参照)

VI 外国人の状況

外国人数が増加

外国人の人口

50,722人

横浜市に在住する外国人は 50,722 人 (総人口に占める外国人の割合 1.4%) で、平成 12 年に比べて 5,400 人、11.9% 増加しています。

行政区別にみると、中区で特に多く 9,280 人 (同区に占める外国人の割合 6.6%) となっており、栄区で 794 人 (同 0.6%) と少なくなっています。

(P15 参照)